



IMV株式会社

中期経営計画

2025年9月期～2027年9月期

Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期

振り返り

ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 定性目標

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 数値目標

人的資本基本方針 / ESG経営

Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期
振り返り

ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期
中期経営計画 定性目標

2025年9月期～2027年9月期
中期経営計画 数値目標

人的資本基本方針 / ESG経営

事業概要



振動試験装置

DSS

振動試験装置、複合環境試験装置、信号処理・機械制御システムに関するソフトウェア及び同関連機器の開発、製造、販売、修理・保守サービス



テスト&ソリューションサービス

TSS

振動（環境）試験を中心とした試験の受託、計測解析サービスの提供及びその他のコンサルティング業務

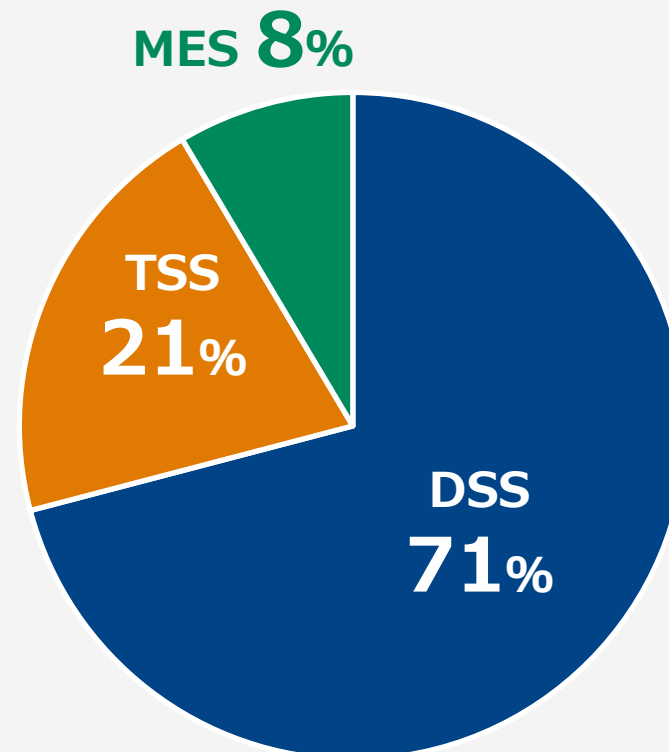


メジャリングシステム

MES

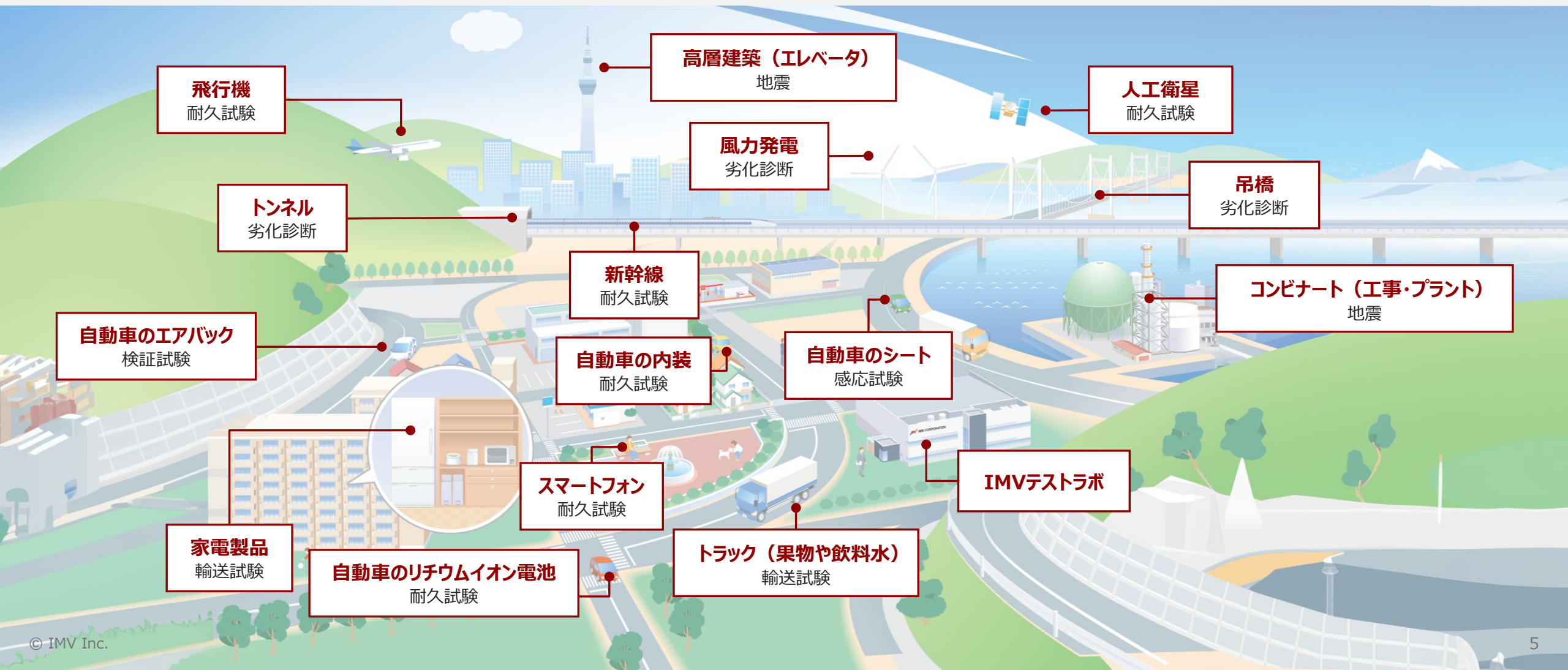
地震監視装置、振動計測装置、振動監視装置、環境信頼性評価システム及び同関連機器の開発、製造、販売、修理・保守サービス

売上構成比



2024年9月末現在

豊かな暮らしを実現するために、身近な振動に、IMVの技術や製品が貢献しています



Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期

振り返り

ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 定性目標

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 数値目標

人的資本基本方針 / ESG経営

中期基本方針

単なるモノ売りビジネスからの脱却

<重要経営指標>

	24 / 9期
連結売上高	146億円
連結営業利益	15億円
連結営業利益率	10.3%
研究開発 (22/9-24/9)	24.3億円



中期基本方針

単なるモノ売りビジネスからの脱却

<中期重点取組み>

研究開発戦略	<ul style="list-style-type: none">• 評価試験コンサルタントとして顧客との繋がり強化• iMV cloudの構築
グローバル戦略	<ul style="list-style-type: none">• サービス体制の強化• EV開発の需要取り込み• 納期短縮• メンテナンス性向上
重点成長事業	<ul style="list-style-type: none">• 防災と予知保全



Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期
振り返り

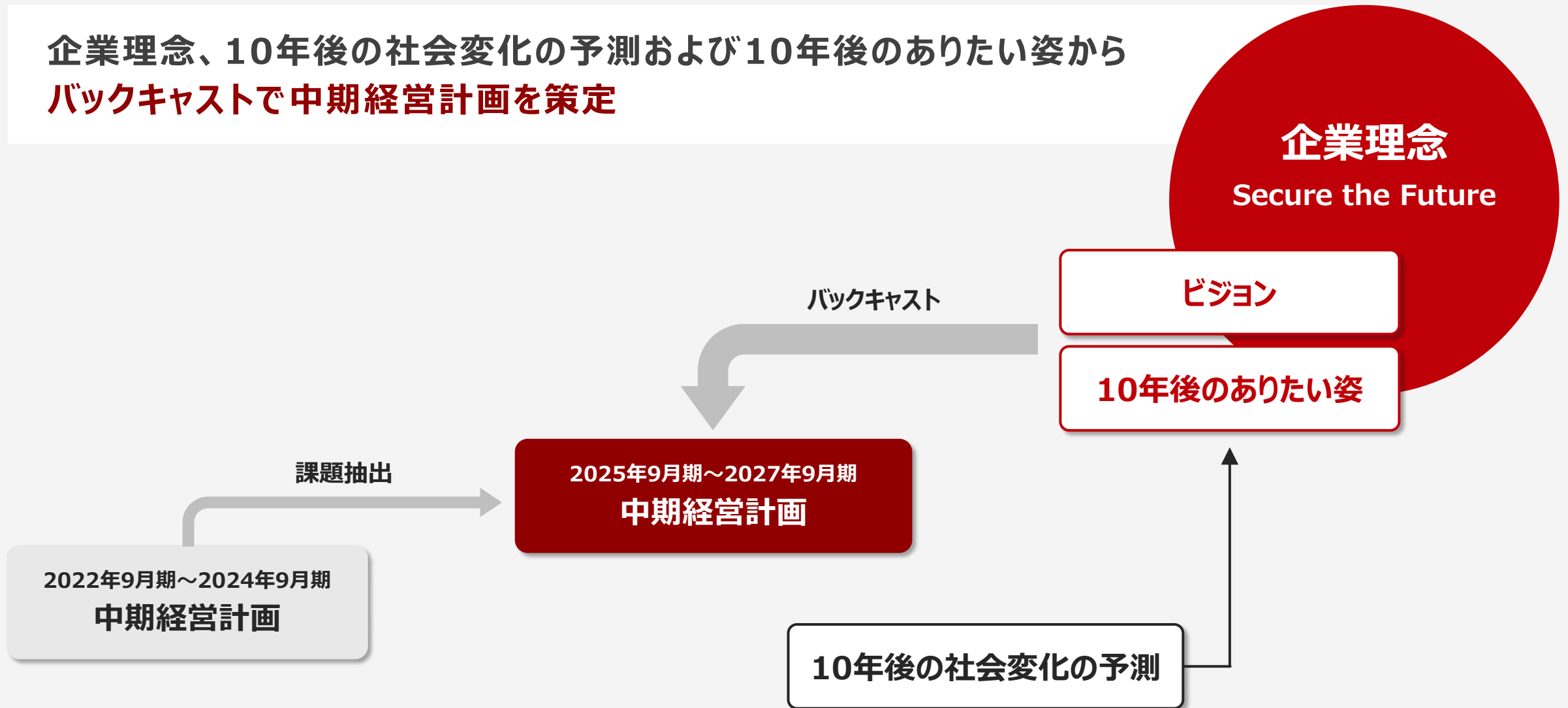
ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期
中期経営計画 定性目標

2025年9月期～2027年9月期
中期経営計画 数値目標

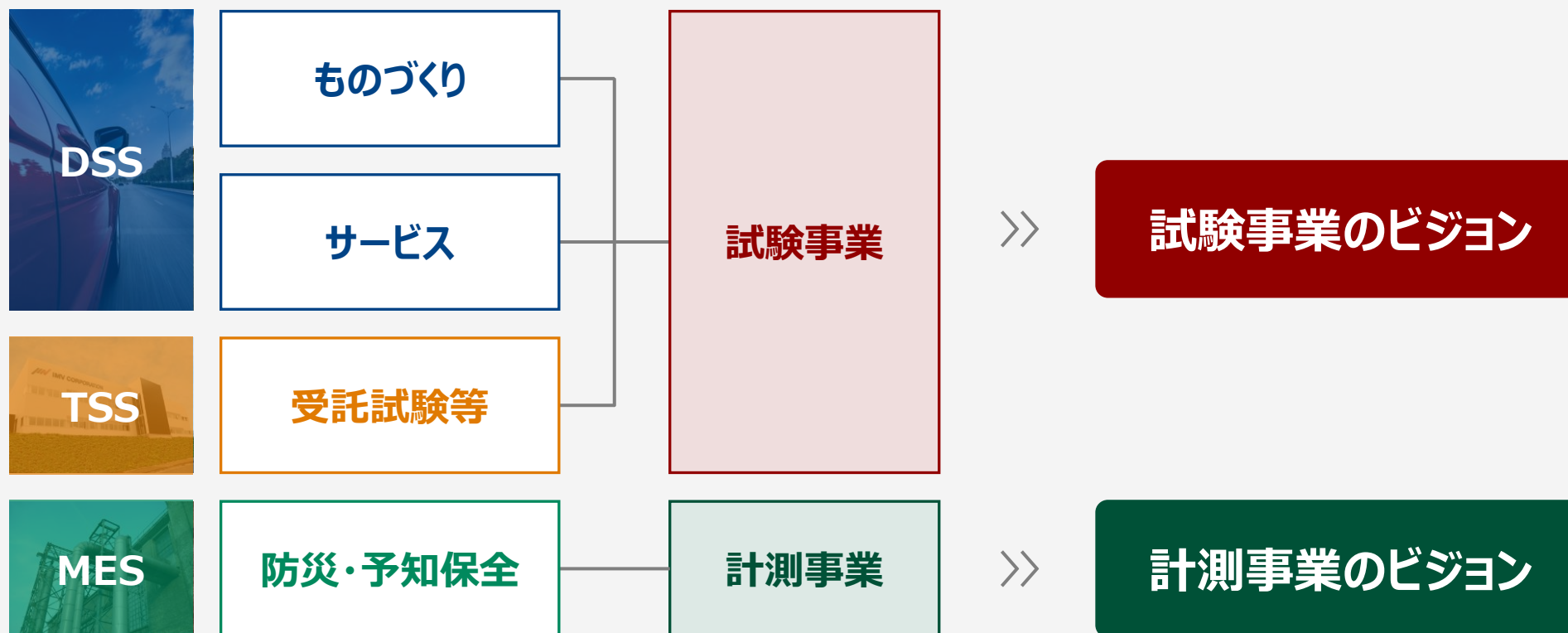
人的資本基本方針 / ESG経営

企業理念、10年後の社会変化の予測および10年後のありたい姿から
バックキャストで中期経営計画を策定



DSS事業のうち、ものづくりとサービスに分けて計画を策定

ドメインの異なる試験事業と計測事業でそれぞれのビジョンとありたい姿を策定



Secure the Future

～未来の安全・安心のために～

IMVは、事業を通じて世界の安全・安心に寄与し、
持続可能な社会の実現に貢献します

IMVで働く人々は、すべての業務が世界の安全・安心に繋がることを常に意識し、
またそれを誇りに思います

技術



宇宙開発、AI、自動化、デジタル化、遠隔化

社会

労働力不足、働き方の多様化、AIとロボティクスの影響、モビリティ産業の変化



10年後の社会変化

経済



エネルギーの在り方、調達リスク、気候変動リスク

政治

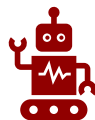
戦争リスク、防衛産業、日本の国際的立ち位置の変化



事業環境に変化をもたらす要因



モビリティ産業の変化



AI



労働力不足



働き方の変化



宇宙・防衛



Secure the Future

適正品質で未来を拓くベストパートナー

人とモノのレジリエンスをセンサ技術で共創する

プロフェッショナル人材が集結する企業

**あらゆる地域においてお客様の製品開発を止めない
製品とアフターサービスを提供する**

あらゆる産業の品質評価に“なくてはならない存在”になる

- 航空宇宙産業の品質評価プラットフォームを形成
- あらゆるものづくり企業の品質評価コンサルティングパートナーになる
- 未来のモビリティ産業のルールメーカーになる

デジタルで品質評価の世界を変える

- デジタルで品質評価にかかる時間を半減させる
- デジタルで品質評価データにもとづく開発設計支援を行う

総合防災企業としてのブランドビルディング

振動予知保全企業としてのブランドビルディング

Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期

振り返り

ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 定性目標

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 数値目標

人的資本基本方針 / ESG経営

ありたい姿	実現の構成要素	2025	2026	2027	2028	2029
グローバルでの製品競争力を向上	製品品質の向上					
	サービスしやすい製品					
	研究開発戦略					
	適正納期の実現					
	顧客対応品質の向上					

✔ グローバルでの製品競争力を高めるため、適正納期を実現



在庫販売強化

- 需要予測精度向上
- 適正な在庫水準



生産キャパシティと
生産プロセスの精査

- キャパシティの分析
- 生産プロセス最適化



顧客対応品質向上

- 顧客理解
- 適正提案
- 正確でスピーディな
情報提供



適正納期の
実現

✔ デジタル活用と顧客要求にマッチしたソリューションを中心とした研究開発戦略



デジタル活用による顧客開発期間の短縮

- iMV cloudのデータ管理とレポート作成
- シミュレーション技術の向上



デジタル活用による顧客ダウンタイムの短縮

- iMV cloudを活用したメンテナンスサポート
- 自己診断



新しい試験手法及び評価方法の開発

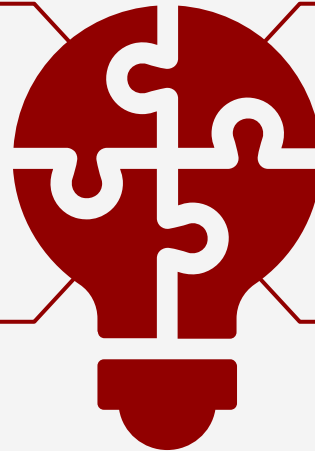
- 産学連携の推進
- 企業間技術連携の強化



顧客要求にマッチしたソリューション

- 試験精度の向上
- あらゆる製品の使いやすさ向上
- 省エネ性能の強化
- 多軸多点試験の技術力向上

研究開発戦略



ありたい姿	実現の構成要素	2025	2026	2027	2028	2029
極上のサービス	試験サポート					
	試験を止めないサービス					
	トレーニング・教育の充実					
世界中で喜ばれるサービス	海外代理店との関係強化					
	海外他社製品のサービス拡大					
	海外他社製品アンプをIMV製に更新					
	米国サービス拠点拡大					



試験サポート

- ① サービスマンによるオンサイトメンテナンス
- ② 試験技術者の派遣

定期点検・校正

- ① 装置を止めないための定期点検推進
- ② ISO17025校正サービス強化

トレーニング・教育

- ① お客様向けセミナー
- ② 海外サービスの担い手である海外代理店の教育

カスタマイズ・アップグレード

- ① 海外他社製品アンプをIMV製に更新
- ② 他社製品のサービス拡大

迅速な対応

- ① 国内サービス拠点のさらなる拡充
- ② 顧客及び海外代理店への適時なメンテナンス部品提供

ありたい姿	実現の構成要素	2025	2026	2027	2028	2029
試験の下請けから脱却し お客様の製品開発パートナーになる	航空・宇宙・防衛産業により深く 関わったビジネスの構築	■	■	■	■	■
	既存サービスの付加価値を高める	■	■	■	□	□
	データ活用サービスの構築	□	■	■	■	■
	新試験サービスのリサーチ	■	■	■	□	□
	プロフェッショナル人材の獲得と育成	■	■	■	■	■

✓ 航空・宇宙・防衛産業により深く関わったビジネスの構築

日本で唯一の振動・環境・**EMC**における防衛規格の試験に対応できる企業へ

航空・宇宙・防衛の**EMC**試験設備導入

航空宇宙の**共同実験**プロジェクトへの参画



☑ 既存サービスの付加価値を高める



各認証機関との
分野別コラボ



コンサルティングサービス定常化と
対応エンジニアの育成



製品認証対応力の強化



試験条件策定や
試験法案の開発



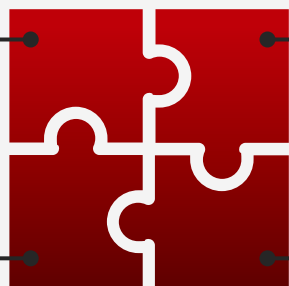
☑ データ活用サービスの構築

CAEとMBDに関連したサービスの提供

- iMV cloudをテストラボの全てのプロジェクトで適用
- CAE、MBD、寿命解析サービスに有効なデータの抽出

シミュレーション解析のデータベース構築

- 生成AIを活用したシミュレーションソフトの構築
- 産学連携による解析手法の確立



IMV認証付きデータの販売

- 市販代替部品との比較実験データを収集
- 既存販売車のキーパーツに対する実験データを収集

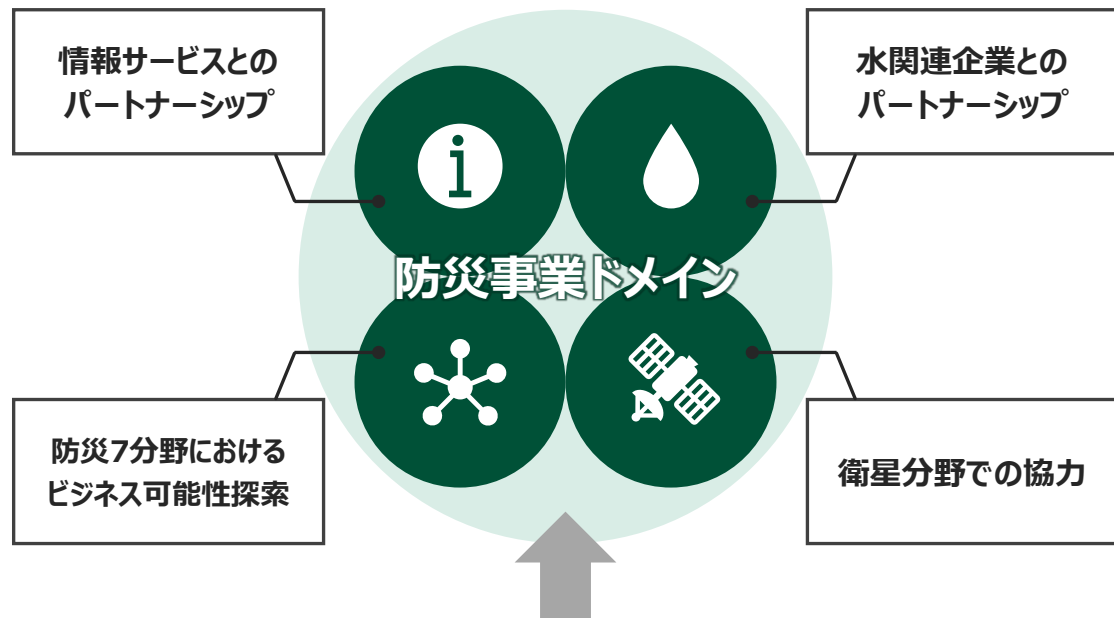
独自の解析結果の提供

- データ収集と解析の自動化
- 状態監視データと実試験データの融合

ありたい姿	実現の構成要素	2025	2026	2027	2028	2029
総合防災企業としての ブランドビルディング	地震計を核として「防災事業ドメイン」を確立、 社会から【防災のIMV】と認知される	■	■	■	■	■
	ISOを活かし日本随一の地震計ブランド確立	■	■	■	□	□
	海外で防災立国ニッポンの旗頭ブランドに成長	■	■	■	■	■
振動予知保全企業としての ブランドビルディング	振動予知保全のパイオニアとしてFA業界で認知	■	■	■	□	□
	予知保全のソリューションプロバイダーに成長	□	□	■	■	■
	海外市場展開	□	□	■	■	■

防災

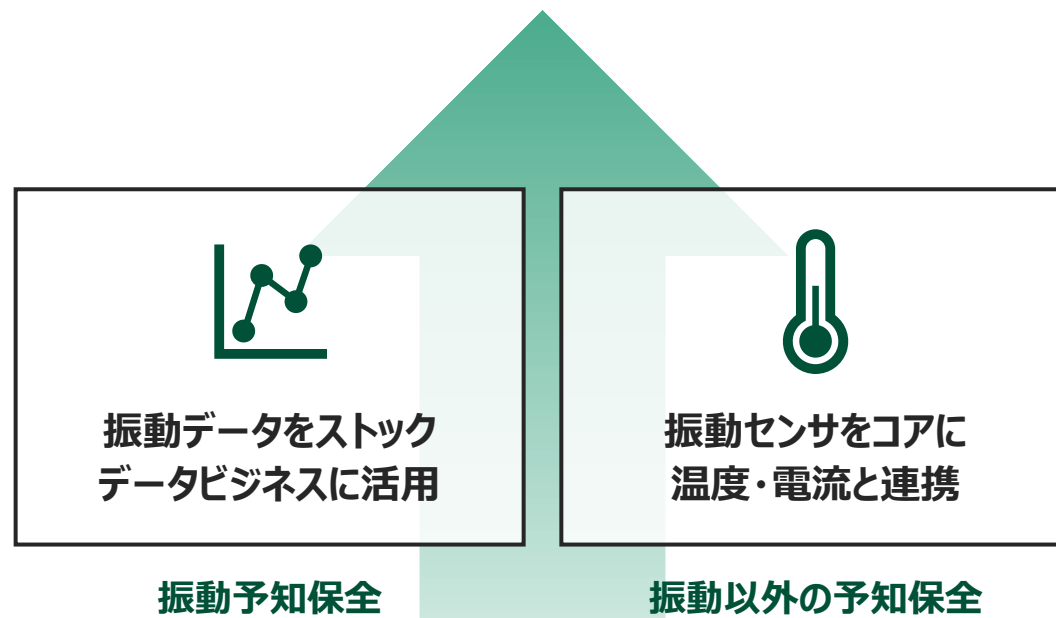
✓ 地震計を核とした防災事業ドメインの確立



ISOの優位性を活かした海外展開と
国内外政府との関係強化

予知保全

✓ 予知保全のソリューションプロバイダーへ



Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期
振り返り

ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期
中期経営計画 定性目標

2025年9月期～2027年9月期
中期経営計画 数値目標

人的資本基本方針 / ESG経営

- ✓ 安定した収益力と資本効率の高さを維持し、持続可能な成長を実現
- ✓ 株主の皆様に対して確かな価値を提供

経営指標	24 / 9期 実績	25 / 9期	26 / 9期	27 / 9期
売上高（連結）	15,340百万円	16,500百万円	17,200百万円	18,000百万円
EBITDA	2,455百万円	2,594百万円	2,774百万円	3,065百万円
EPS	88.75円	95.46円	101.08円	108.42円
ROE	現在のROE水準を保ちつつ、事業を伸長させていく			

3年後成長率120%以上

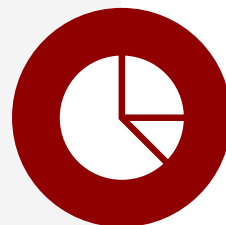
3年後成長率120%以上

- 事業の成長と資本効率の向上により得た原資をもとに
さらなる事業成長および人的資本への積極投資を最優先としながら、株主還元を実施



成長投資

- 設備投資(25/9-27/9) 59.2億円
- 研究開発費(25/9-27/9) 30.1億円
- 積極的なM&A



株主還元

事業への積極投資を最優先としながら、
純利益に応じた株主還元を実施



人的資本への投資

- プロフェッショナル人材の積極採用
- 研修及びスキル強化プログラムの充実
- 適正な評価に基づく報酬とインセンティブ制度の構築



資本効率の向上

- 棚卸資産の圧縮
- 売上債権の回収条件見直し
- リードタイムの短縮

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

株主還元

安定的な額の配当 → 利益と連動した株主還元方針へ

	19 / 9期	20 / 9期	21 / 9期	22 / 9期	23 / 9期	24 / 9期	25 / 9期 (予定)
配当金	8.5円	8.5円	10.0円	10.0円	12.0円	20.0円	24.0円
連結配当性向	37.6%	43.7%	17.4%	15.3%	17.4%	22.5%	25.1%
自己株式取得 (額)	—	—	—	—	—	243,837千円	— (未定)

従来

額を基準に安定的な配当を重視

業績がふるわない場合にもなるべく
定期的に株主の皆さまへお配りするため

今後

最終の利益（純利益額）と連動した配当を重視
臨機応変に自社株買いを実施

獲得した利益をより積極的に株主の皆さまへお配りするため

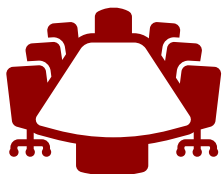
当社業績の伸長スピードや
株主・投資家の皆さまの
意識の変化を認識

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

IR活動

積極的な情報開示とPR活動で株式市場との接点を増加させていき、投資家から得た情報を社内に共有し経営に反映させていく

投資家との面談



- 機関投資家へ継続的なアプローチ
- 双方向のコミュニケーションを重視し、投資家からみた評価、要望を経営に取り込む

情報開示



- IR資料、HPの一層の拡充
- 対話事例やQ&Aの開示

PR



- PR活動の強化で認知を獲得し、株式の流動性を強化
- 事業の社会貢献性、成長性のアピール

社内へのフィードバック



- 市場評価や面談内容を取締役にフィードバックし施策へ反映
- 社内への発信を強化し、資本市場への理解を醸成

Index

事業概要

2022年9月期～2024年9月期

振り返り

ビジョンとありたい姿

2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 定性目標

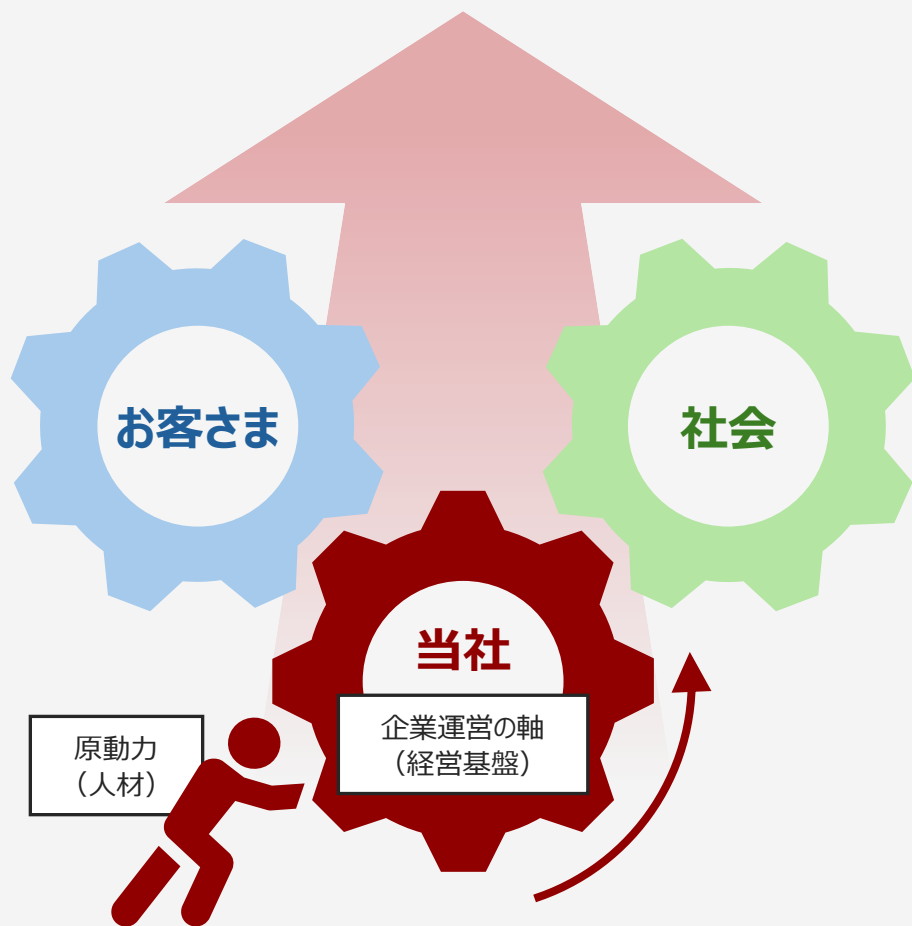
2025年9月期～2027年9月期

中期経営計画 数値目標

人的資本基本方針 / ESG経営

ビジョンの実現に向けた基本姿勢

適正品質で未来を拓くベストパートナー
人とモノのレジリエンスをセンサ技術で共創する



当社ビジョンの実現に向けた基本姿勢

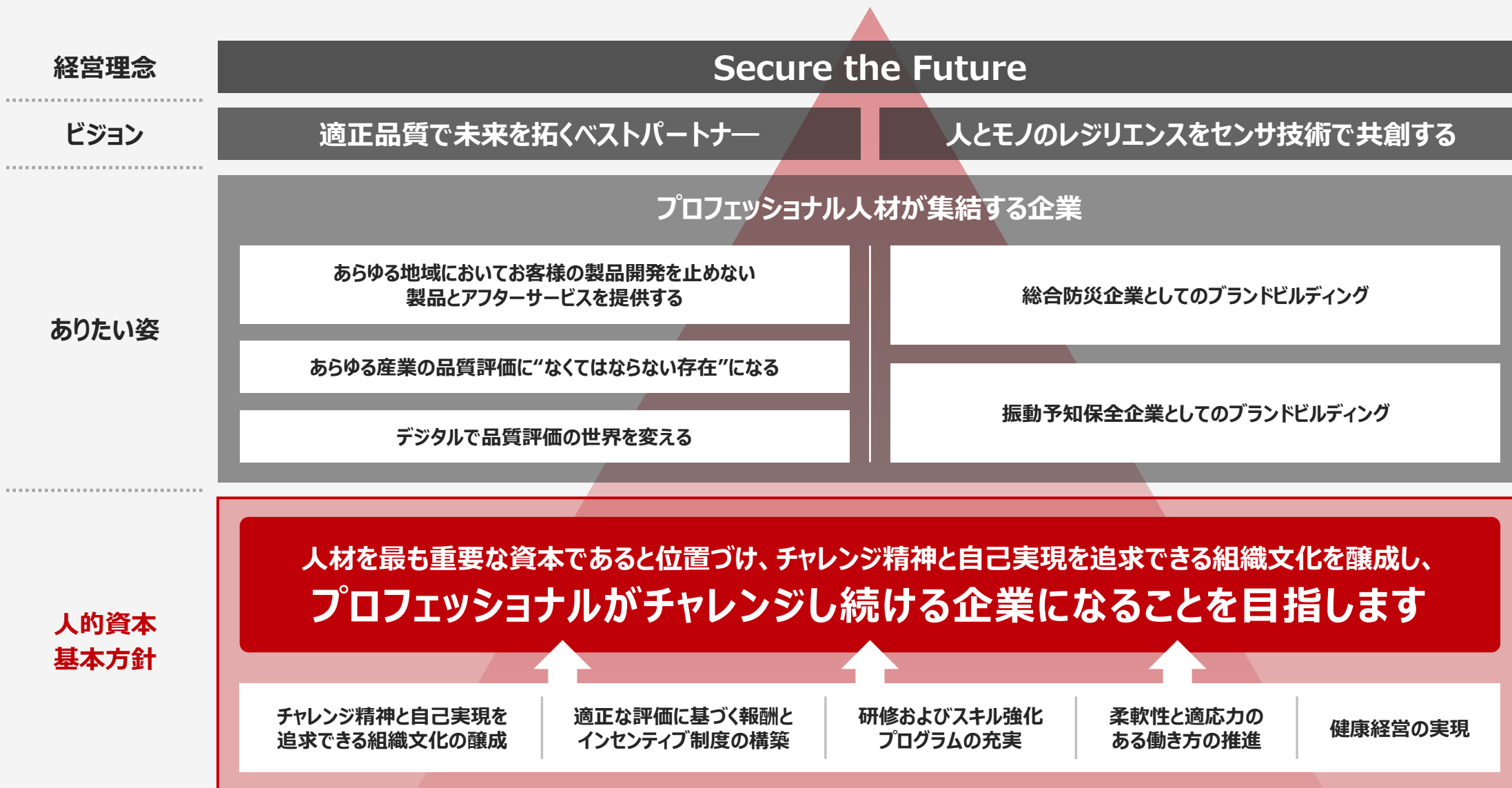
お役立ちを追求し、当社の技術・サービスを高めることで
お客様のベストパートナーとしての存在感を発揮

社会的課題の解決に取り組むことで、
持続可能な社会の実現に貢献

経営基盤である「ステークホルダーとの信頼関係」をより強固な
ものとするため、時代に適応した**健全で透明な企業運営**を追求

原動力であり、成長の源泉である「人材」の確保・育成を
強化し活かす、**人的資本を重視した経営**を実践

中期経営計画 人的資本基本方針



ESG経営の実践

事業の持続的な成長のため、環境（Environment）、社会（Society）、ガバナンス（Governance）の3つの要素を重視した経営を実践します

環境

廃棄物の削減

- ・事業活動により生じる環境負荷の最小化
- ・お客様の振動試験機の適切な使用、管理、メンテナンスを促進し、予知保全的に廃棄物を削減



社会

イノベーションの促進による技術発展、経済成長

振動技術に関する知識・知見を軸に外部の企業や大学と積極的に技術連携、共同研究を実施

災害に対する強靱性（レジリエンス）、適応力の強化

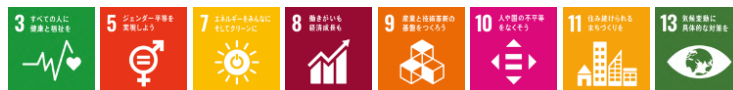
地震計の販売を通して地震災害時の迅速な被害把握、把握情報をもとにした適切な避難誘導など、地震への対応力向上に資する

多様な人材が活躍できる職場づくり

- ・プロフェッショナル人材の確保と育成
- ・ワークライフバランスの促進
- ・健康経営の実践

社会との共生、調和

- ・防災事業の国際社会への貢献
- ・学生に対する教育活動への貢献



ガバナンス

健全で透明性の高い経営体制

- ・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレート・ガバナンス体制の強化
- ・グループ会社のガバナンスやリスクマネジメント強化

ステークホルダーとの関係強化

- ・投資家との積極的な対話
- ・適切な情報開示と透明性の確保



免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IMV株式会社 代表取締役社長 小嶋 淳平